

1 部の使命

議会事務局は、議会と長の適切な緊張関係を背景とした地方自治における二代表制のもと、市民にとって最良・最適な意思決定が行われるよう、議会の政策立案や監視等における助言スタッフとして機能することにより、持続可能なやぶぐらし幸せ社会の実現に貢献します。

2 部の経営方針

- 【市民】市民から信頼され、市民に開かれた議会を実現するための議会改革を推進
- 【経営】議会の権能を適切に発揮させるため、議会内外に向けた調整力を向上
- 【政策】議会における政策立案能力を確立・強化
- 【協働】議会報告会プラスなど、新たな手法による広報・広聴機能を強化
- 【人材】OJTにより議会運営に関する職員の専門的能力を向上
- 【改善】業務改善ミーティングの開催

3 重要経営課題

- 【政策】政策立案の実現
- 【情報】開かれた議会への情報発信
- 【市民】市民起点の議会改革を推進
- 【人材】職員間の事務の共有化
- 【経営】市民起点による議会経営

4 部の重要政策の取組内容

- 議会改革推進特別委員会による議会改革の推進
- タブレット更新に関する調査研究
- 議会政策形成セミナーの実施
- 議員の調査研究活動の質的改善
- 議会の機能強化を目的とした先進地視察の実施
- 議会改革プラスを活用した市民意見の聴取
- 小中・義務教育学校と連携した主権者教育の推進

5 部の経営目標

【政策①～⑥の数値目標】

その他・行政に関心のある人の割合：50.6%

【経営目標】

- ・市の最高意思決定機関である議会の補助機関として適切な議事運営 定例会：4回、臨時会：随時、各委員会：90日
- ・議員発議による政策条例の制定：1件
- ・3市合同議員研修の開催：1回

- ・議会報告会プラスを活用した市民意見の聴取：1回
- ・小中学校対象の出前授業：1回
- ・議会改革に向けた研修会の実施：1回
- ・ワークスタイルの変革による働き方改革の推進（デジタルの活用によるワークライフバランスの推進）年休取得率の向上：平均12日／人以上

6 前年度の経営目標及び実績

【令和7年度実績】

- 市の最高意思決定機関である議会の補助機関として適切な議事運営 定例会：4回、臨時会：随時、各委員会：90日//95日
- 3市合同議員研修の開催：1回//0回（代替実施1回により達成）
- △議会の機能強化を目的とした先進地視察の実施：2回//0回
- 議会改革に向けた研修会の実施：1回//1回
- △ワークスタイルの変革による働き方改革の推進（デジタルの活用によるワークライフバランスの推進）年休取得率の向上：平均12日／人以上//10.3日

【評価】

議会の補助機関として適切な議事運営、委員会運営を補佐し目標を達成した。

3市合同議員研修は開催できなかったものの、滋賀県日野町議会との合同研修会を実施し、目標を達成した。

議会の機能強化を目的とした先進地視察は行えず目標未達のなったものの、議会の政策提言を目的とした議員有志のプロジェクトチームが設置され、政策提言に向け新たな取組を開始した。

議会改革に向けた研修会として、外部講師を招聘した市民合同研修会を実施し目標を達成した。ワークライフバランスの推進としてとして、職員の年休取得率10.3日／人となり、目標は未達となった。

【原因】

議会の政策提言を前提とした議員有志のプロジェクトチームが始動したため、議会の機能強化を目的とした先進地調査を見送ることとした。また、ワークライフバランスの推進については、一部の職員の年休取得率が極端に低調であったため、全体の達成率を引き下げ、目標未達となった。

【対応】

議会の機能強化として、本年度は前年度に始動した議会の政策提言の取組を推進する。また、ワークライフバランスの推進については、業務の平準化や職員の意識改革を進め、全ての職員において、年休取得力の向上に努める。